

水俣病

治療に有力手がかり

高橋熊大教授

有機水銀除去 脳中の 試験管内で完全に成功

熊本大学医学部はこのほど、水俣病患者の脳から有機水銀を除去するのに有力な手掛かりを得ることに成功した。この実験が臨床的に応用できれば、水俣病患者の治療に画期的な効果をもたらすものと期待されている。

実験を行なったのは、同大医学部付属化学研究所の高橋熊大教授(生化学)らで、さる六月から特殊な薬品を使って患者の脳中から、水俣病の原因となった塩化メチル水銀を除去する研究に着手していたが、このほど実験的に試験管内では完全にメチル

ある。これまでの実験で、ヒタマシンBに似た薬品で、脳中に入り込みやすいもの①-SH基を持った薬品を数回試みた結果、ある特殊な薬品を作用させることで三時間でメチル水銀の六〇〜七〇％が排出され、薬品の濃度と投与時間を変えると完全に除去できることがわかった。

このため高橋教授は、現在白ネズミと二十日ネズミに塩化メチル水銀を投与して水俣病を起こさせ、実験に成功した薬品を投与して、マヒの取れ具合、脳中の水銀量の減少度をテストしている。

この薬品が実際に水俣病患者の治療に使われるまでには、さらに薬品の無害性や副作用の有無、薬品によって除去されたメチル水銀が体外に排出されるまでに他の脳の部分や臓器に作用する恐れがないか、など多くの疑問が山積しているが、これが成功すれば脳病変が固定化しない初期の患者の治療や予防、それに長期患者でも現在症



高橋教授

状が進行している患者の治療に役立つものとみられ、水俣病患者に大きな福音となるものと期待されている。

◇高橋教授の話 また試験管の中でやっただけで、動物実験の結果がわからなければ、学者としては何とも言えない。ただ、私は一時水俣市民病院にいたことがあり水俣の人々に大変お世話になっていた。それで、何か患者の皆さんのお役に立ちたいと実験を思いついた。問題はこれからなので、先輩のご指導を仰いで効果的な治療薬をぜひ見つけた。

水銀を取り出すことに成功した。

同教授の実験は、動物の脳からタンパク質だけを取り出したものに、塩化メチル水銀を結合させて、試験管内で有機水銀に置かれた水俣病患者の脳内と同じ病理現象を起こさせ、これに特殊な薬品(タンパク質よりさらにメチル水銀と結合しやすい「18日基」を持ったもの)を作用させてメチル水銀を脳中から除去しようという方法で

◇広田新通大神経内科助手の話 水銀を除去する薬はないというのが現在の医学常識だ。バルとかベニラミンとか現在使われている薬も全くきかないというデータもあり、バルを投与したら死んだケースもある。三時間で六〇〜七〇％有機水銀が除去されるという結果は驚くべきことだ。たとえ試験管の中での実験でも大きなニュースです。